【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

	科	目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学	期等	
ホスピタリティ経営と顧客価値の創造					必修 2		1	後期(集	集中)	
担当教員			研究室	電子メール ID			オフィスアワー			
田村 正人 他			B308	masato.tamura			水曜日 12:10~13:00			
に学び理解を深めるこ			- 1 1 1 1 1							
え、顧客満足とブラン を行う。			ーバルに事業展開をしている企業で観光・開発事業に携わる実務家を講師に迎 ド価値の創造に必要な視点を養い実践的な経営知識を身につけられるよう授業							
授美	業形式・方法		☑講義 ☑演習☑グループ・ワーク☑グループ・ワーク☑グループ・ワーク☑プ・レゼ・ンテーション□実習・フィールト、ワーク□その他 ()							
学	習上の助言	授業に関連する社会的な	:動向等につい	てニュー	スや新聞等を日	ごろから	目を通すこと	が望まし	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
教	科 書 なし									
参	考 書 なし									
外	部 教 材	なし								
		学生が達成する					関連卒業認定・学位授与方針			
1		要な視点、考え方を理解し					HSU(5)、HS			
2		ことの基礎的な知識を理解					HSU(6), HS			
3		スピタリティの視点かられ						HSU(1), HS(1)		
4	顧客の満足につい						HSU(3), HS(1)			
⑤	ホスピタリアイ	栓呂について子んに放果る	ピ発衣すること/	発表することができる。				HSU(4)、HS(6)		
0				計	画					
口			1文 未	目	授業の方法	学型	課題・学習時	計計(時間)	
	オリエンテーシ				以来の万仏	7-1	IME THE	1111 (47111)	/	
1	富士急グループ。評価等について	§ 月 5 日 [担当] 田		講義・演習	シラバス	ラバス内容を把握する		2		
2	富士急グループは	こついて学習する。	10月31日 [担当]田 [講師]古	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をす る			4	
3	社会人に必要なする。	ものと考え方について学習	10月31日 [担当]田 [講師]小	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をす る			4	
4	会社の経営 <mark>1</mark> (注 学習する。	法令遵守・安全)につい ~	[担当] 田 [講師] 岩	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする			4	
5	会社の経営 <mark>2</mark> (全学習する。	11月14日 [担当]田 [講師]早	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をす る			4		
6	会社の経営3(2	11月14日 [担当] 田 [講師] 羽	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をす る			4		
7	業種別の経営と原 てなし) につい	顧客満足1(ホテルのおう て学習する。	11 日 91 日	(金) 村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする			4	
8	業種別の経営と属なし) について	顧客満足2(運輸のおも [~] 学習する。	11月21日 [担当]田 [講師]相	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をす る			4	
9		顧客満足3(アミューズ) し)について学習する。	11月28日 [担当]田 [講師]加	村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をす る			4	
10	業種別の経営と属なし) について	顧客満足4(観光のおも [~] 学習する。	[講師] 奥	村正人 脇健臣	講義・演習	テーマについて予習復習をする			4	
11	授業の振り返り	果	12月5日 「担当」田		講義・演習	学習成果を整理する。			4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

19 1 "	授業の振り返り グループ毎の成果発表準備				12月5日(金) [担当] 田村正人	講義・演習	学習成果	を整理する。	4	
	グループ毎の成果発表				12月12日(金) [担当] 田村正人	講美• 滨羽	学習成果	を整理する。	4	
14 ク	1 グループ毎の成果発表					12月12日(金) [担当] 田村正人	講美• 淪翌	講義・演習 学習成果		4
15 ま	まとめ・成果発表				12月12日(金) [担当] 田村正人	講美• 淪翌	学習成果	を整理する。	6	
試 定	三期試験	 験 達成	龙度評	価・評価のポ	 イントを参					
						達成度評価				<u> </u>
					試験	上ポート	成果発表	ホ° ートフォリオ	その他	合計
	総合評価割合(%)		0	60	20	0	20	100		
	知識・技術力思考・推論・創造する力			0	10	0	0	0	10	
44				0	20	5	0	0	25	
総合	協調性・リーダーシップ		0	0	5	0	0	5		
総合力指標	発表	発表・表現伝達する力		0	10	5	0	0	15	
指煙	コミ	ミュニケ	ーシ	ョン力	0	0	5	0	5	10
.IVL	取糺	且みの姿	勢・	意欲 	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力		0	20	0	0	0	20		
		т .			評価のポイ				フィードバッ	ノクの方法
評価力	5法	行動 E	1標		評価	面の実施方法と注	意点		2 1 1 2	
ルポート ③ ✓ レポート に答え ⑤ ✓ 脱字等 ⑥ ① ✓ 成果発表 ④ ✓ きてい ⑤ ✓ ⑥				レポートのラ に答えている 脱字等で行う プレゼーショ	期試験はレポート課題を出す。 ポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容(聞かれたこと 答えているか、自分の意見を述べているか)、文章の構成、誤字・ にて返却する。 字等で行う。 レゼーションを実施する。発表内容や聞き手を意識した発表がで ているか評価する。					
ホ° ートフォリオ		① ② ③ ④ ⑤								
その	他	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	\frac{1}{\sqrt{1}}	授業を受ける	態度、取り	組みに対する姿勢	を評価する。			
						備考			ı	
也 担	当	教 員	田村	正人 他 特	·別講師(富	士急行株式会社.	ブループ)			
教員の	実務	経験				害者の権利擁護活 13 年の実務経験		いるほか、自	治体の委員として	て福祉計画が

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

実践的授業の内容		内容	ホスピタリティ産業でのさまざまな取組について、実務家による実践的な内容を分かりやすく学生が理解、考察ができるように授業を進める。							
7	- D	他	・授業で使用する資料は原則として Teams で配布する。連絡事項を含めて注意すること。 ・今後の新型コロナウィルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・講義の進行状況によってシラバス内容、授業回、特別講師等を変更することがあり得る。 ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ・本授業は、オンライン (Teams 等)を活用した授業回があり得るので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。							